

体育教員が日本について英語で教えてみたら。 Vol.8

前回に引き続いて、形容詞にまつわる文法です。

1. [**A** は adjective です] を過去形にしてみましょう。

しずかな (な-adjective) とうるさい (い-adjective) の2種類の形容詞を使ってみます。「です」の部分の過去形にしたら、「でした」ですね？だから、簡単♪簡単♪と思ったら、大間違いです。

な-adjective : あの町 は しずかな でした。

い-adjective : あの町 は うるさい かった です。

な-adjective を使う場合は、「な」を消して、「でした」を付け加えます。これは現在形のパターンと同じなので、「です」→「でした」に変化させるだけの簡単なパターンです。

しかし、い-adjective はどうでしょう？「あの町 は うるさい でした」という表現、なんか聞いたことありませんか？あー間違っているなあ（でも通じる）、っていう Japanese learner の話し方です。い-adjective の場合は、語尾の「い」を消して、「かった」（←ここで過去形を作る）を加えて、最後に「です」（←え？現在形？）で締めます。

That town was quiet. That town was noisy. 英語だと Be 動詞を過去形にするだけで、表現できますが、日本語の場合、形容詞の種類で、それ以降の言葉が変わります。日本人は主語が単数か複数かで was/were を使い分けることに苦労しますが、Japanese learner は形容詞の種類によって、それ以降をどう変化させるかで大変苦労します。私たちはなぜ何も考えずにこれが正しくできるんでしょう、か？

2. [**A** は adjective です] を否定文にしてみましょう。

今度は、いそがしい (busy) とひまな (not busy) を使ってみます。

わたし は いそがしい ありません。

わたし は ひまな じゃ ありません。

現在形の否定文の場合、い-adjective もな-adjective もそれぞれ「い」と「な」を消して、「く」または「じゃ (or では)」を付け加えて、「ありません」で結びます。単純に否定形の「ありません」をつけるだけでは正しい日本語は作ることができないのです。

ちなみに「ひまな」という日本語にぴったりくる英語がなかなか見当たりません。なので、not busy を使いますが、「わたしはひまじゃありません」にそのまま当てはめると、なんか訳が分からない文章になってしまいます。英語ではもっと直接的に、I'm busy. といってしまうのでしょ。曖昧な表現が多い日本的な語彙なのかもしれませんね。

こんなに複雑なのかと驚きませんか？まだまだ複雑な形容詞の使い方がたくさんあります。答えを知っているけど説明できない、ことがしょっちゅうあります。日本語教育っておもしろいです。

